



宇治武田病院通信

かけはし

発行 宇治武田病院

〒611-0021
京都府宇治市宇治宇文字24-1
TEL 0774-25-2500(代)
FAX 0774-25-2353
URL <http://www.takedahp.or.jp/>

新春特別号 平成19年3月1日発行

本年4月1日開設に向け、 新病院順調に建設中！



3月初旬竣工予定

理念

- 思いやりの心

基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利の尊重
- 信頼の医療に向けて
- 地球にやさしい環境づくり

環境方針

1. 省資源・省エネルギー
2. 廃棄物の減量化
3. リサイクルの推進
4. 安全性・快適性の推進
5. 環境広報活動の推進



武田病院グループ理事長 武田隆久からのごあいさつ

武田病院グループ理事長
武田 隆久

武田病院グループにおきましては、予防医療や、あらゆる疾患に対する診療行為、また医療から在宅介護に関するすべての仕組みを整えております。高齢化がますます進むことが予測されていますが、グループのすべての機能を、医療や介護を必要とされる方々のために傾けてまいります。

宇治武田病院の新築開院もその一環であり、京都南部地域の中核医療・福祉施設としての役割が果たせるべく、多機能を備えております。その一例が、最新鋭・最先端のがんの放射線治療装置「トモセラピー」の導入です。病床環境・医療機器の整備等、最新の医療環境を構築して、がんに対する中核病院としての役割を担ってまいります決意です。

同時に、介護分野として、社会福祉法人悠仁福祉会 特別養護老人ホーム「ヴィラ鳳凰」を新築開設しました。4階建てで、特別養護老人ホーム80人、ショートステイ20人、ケアハウス30人、デイサービス25人の方々が入所される、中宇治地域をはじめ府内でも有数の医療・福祉の近代的な総合福祉施設となります。

武田病院グループでは今後とも、全施設、機能、職員が一丸となって、地域への貢献と患者さまや利用者の方々が、質の高い保健・医療・介護サービスを受けていただける環境づくりを目指してまいりますので、ご支援、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



宇治武田病院正面玄関（2007年2月撮影）



透析センター 図書コーナー 屋上庭園 管理棟	6F
リハビリセンター 病棟 501～516 (回復期リハビリテーション病棟) 食堂・談話コーナー スタッフステーション	5F
A病棟 病室 301～313 (混合病棟) B病棟 病室 321～351 (内科系病棟) 食堂・談話コーナー スタッフステーション	3F
病棟 201～218 (外科系病棟) 手術室 家族控室 特定集中治療室 心臓カテーテル治療室 食堂・談話コーナー スタッフステーション	2F
総合案内 受付・会計 地域医療連携室 各外来診察室 処置・点滴室 物療室 内視鏡室 放射線部門 検査部門 健診センター 放射線科 健診センター コンビニエンス・ベーカリーカフェ	1F
放射線治療センター ランドリー (洗濯室)	Bf

診療科目

内科・神経内科・消化器科・循環器科・アレルギー科
 リウマチ科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・肛門科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・歯科口腔外科・麻酔科

特診科目

糖尿病・呼吸器科・睡眠時無呼吸外来・ケミカルピーリング・下肢静脈瘤外来・コンタクト外来・骨粗しょう症外来・スポーツ外来・膝外来・小児循環器外来 (放射線がん治療・透析治療・婦人科予定)

告示・指定

各種保険取扱病院

各種指定医療機関

先進医療 (自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術 (PPH))

更生医療 (整形外科に関する医療・腎臓に関する医療予定)

施設基準

一般10対1入院基本料

回復期リハビリテーション病棟入院料

開放型病院共同指導料 (15床)

薬剤管理指導、麻酔管理料

入院時食事療法 (I)、栄養実施管理加算

脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)

運動器リハビリテーション料 (I)

呼吸器リハビリテーション料 (I)

検体検査管理加算 (I)、診療録管理加算

重傷者等療養環境管理加算

特殊CT撮影及び特殊MRI撮影

単純CT撮影及び単純MRI撮影

遠隔画像診断、補綴物維持管理加算 (I)

テレパソロジーによる病理迅速顕微鏡検査

医科点数表第2章手術の通則5及び6に掲げる手術

脊随刺激装置埋込術・脊随刺激装置交換術

輸血管管理料 (II)、コンタクトレンズ検査料 (I)

電子化加算、地域連携診療計画退院時指導料

救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算

地域歯科診療支援病院歯科初診料

(以下は取得予定)

心大血管疾患等リハビリテーション (I)

直線加速器による低位放射線治療

特定集中治療室管理料、外来化学療法加算

短期滞在手術基本料、無菌製剤処理

病棟配置 (全5病棟 177床)

	【病床数】	【診療科】
[2F]	44床 6床	外科系病棟 特定集中治療室 (内、個室3床)
[3F] A	43床	混合病棟 内科系病棟
B	45床	
[5F]	39床	回復期リハビリテーション病棟
[6F]	50ユニット	透析センター

病床内訳

特別室	1室	1床	22.8m ² /床
個室A	6室	6床	12.4m ² /床
個室B	18室	18床	11.0m ² /床
2床室	5室	10床	8.99m ² /床
4床室	37室	148床	8.20m ² /床
特定集中治療室	1室	6床	31.62m ² /床

質の高い医療を提供する ～スーパー・ホスピタル～

- ・ 先進医療サービスの提供
- ・ 納得のできる医療の提供
- ・ 安心の救急体制
- ・ 診療情報の適正管理

入院療養環境の大幅な改善を行うとともに、救急・放射線・手術部門のより一層の充実を計ります。リハビリテーションや予防医学にも力を入れ、特に透析では全自動型の機械を導入。医師・看護師・その他の医療技術者や事務スタッフが一体となったチーム医療で、患者さまの社会復帰のお手伝いや治療を行ってまいります。



50ユニットが配置可能な透析室（6F）



総面積約500㎡の広さを誇る
リハビリセンター（5F）

患者さまに満足を提供する ～ホスピタリティー・ホスピタル～

- ・ ホスピタリティーの追求
- ・ 癒しとやすらぎへの配慮
- ・ 医療安全の確保
- ・ 患者さまの利便性への配慮
- ・ プライバシーの尊重
- ・ 診療環境の充実

プライバシーを尊重した快適な病室と、セキュリティー対策は万全の館内。ベーカリーカフェ、コンビニエンスストア、図書館などの施設も充実し、治療、入院中の患者さまをサポートします。



各階には食堂・談話コーナーを設置



ゆったりとした1階の外来診療ゾーン

快適な院内環境をつくる ～クリーン・ホスピタル～

- ・ 徹底した感染防止管理
- ・ 安全性、快適性の推進

感染防止は医療施設の責務です。清潔不潔の物流が交差しない動線や、陰圧部屋や陽圧のクリーン設備。職員や患者さまの手洗いを容易にする工夫も施しました。



スタッフステーションと各病室

宇治武田病院 5つのコンセプト

地球にやさしい環境づくり ～エコ・ホスピタル～

- ・ 地球環境の保全
- ・ 省施設、省エネルギーの推進
- ・ 廃棄物の減量化
- ・ リサイクルの促進

新病院では、従来より行っている省資源、省エネルギー対策に加え、ガスコージェネエコシステムを導入します。地球環境にやさしい病院であることは患者さまにもやさしい病院であると考え、最善の努力をいたします。



各階から望む
吹き抜けの中庭



各階には開放感
あふれる屋上庭園

地域とともに歩む ～リージョナル・ホスピタル～

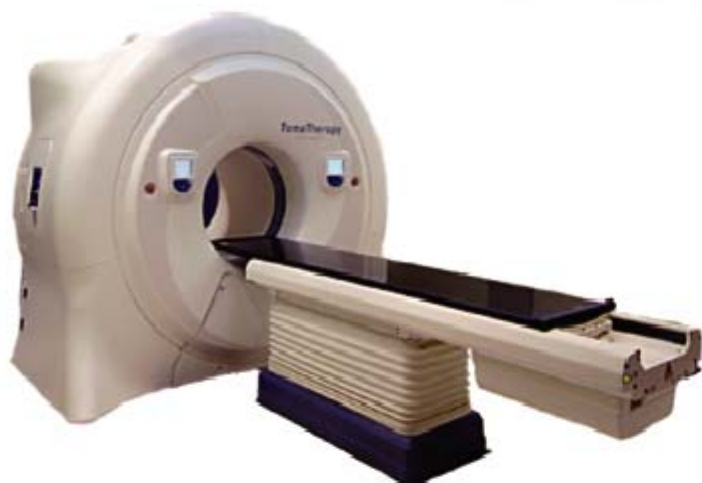
- ・ 地域の医療拠点としての役割
- ・ 予防医療の推進
- ・ 医療、福祉ゾーンの形成
- ・ 災害時拠点としての役割

地域の病院や開業医の先生方との連携を密にし、病病・病診連携の地域ネットワークを構築することで、患者さまの病気の継続治療や社会復帰がよりスムーズになると考えます。特別養護老人ホームとともに、中宇治地区の医療・福祉ゾーンを形成し、健康で安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

また、新病院では医療用ガス配管を通路壁に設置。大規模災害時の拠点病院として対応が可能です。

近畿圏で初

最新鋭の全身定位放射線治療機器 トモセラピーを導入します。



患者さまにやさしい最新治療

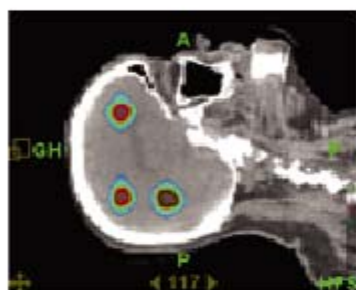
Tomotherapy

トモセラピーは、今最も注目されている最新の放射線治療機器です。

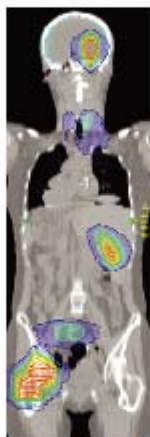
従来の放射線治療では、悪性腫瘍の周辺部分まで放射線を照射せざるを得ませんでした。

しかし、トモセラピーは、放射線照射装置にヘリカルCTの機能を合わせることで、より正確に患者さまの患部を特定し、全身どこへでも放射線を照射することが可能です。高精度のコンピュータ制御により、放射線を複数方向から照射するので、ガンマナイフなどで行っているような小さながん病巣へのピンポイント照射はもちろん、手術が困難な深部への照射、さらに一度に複数の病巣への治療も可能で、副作用も軽減されます。従来は難しいとされていた前立腺がんや多発性肺がん、脳や内臓を避けた全骨照射も可能となりました。また、脳腫瘍の治療ではピンを固定する必要もありません。

治療には医療保険が適用され、さらに入院日数も少ないので、患者さまに非常にやさしい治療といえます。



全身における腫瘍の位置を正確に把握するので、ピンポイントの放射線治療が可能です。



そのほかにも最新の治療機器、続々導入

最新鋭 64 列マルチスライス CT スキャナ

全身における、より薄い断面でのスキャンが可能で、立体的な情報が短時間で得られます。患者さまの苦痛なく、微細な血管や病変構造の観察ができるようになり、3次元 (3D) 処理による立体的画像での観察も可能。また、放射線被ばくが大幅に軽減できるのも特徴です。

CT スキャナ



短時間で高画質、 1.5T の MRI

1.5T (テスラー) の最新型。従来にない高画質と、より短時間での検査が可能になりました。また、撮像騒音が抑えられているので、乳幼児検査からご高齢の方まで、リラックスして検査が受けられます。



MRI

全自動の透析機、 GC-110N

水処理装置から透析モニター端末まで、すべてのラインでエンドトキシン、細菌フリーを実現。極限まで清浄化された大量の逆濾過透析液で洗浄、フライングを行うため、透析直後のアナフィラキシーショックなどの発現を抑制します。全自動なので待ち時間が大幅に短縮されます。

